

## 四万十市体験型観光受入研究会だより 農業体験・民泊体験受入 家庭普及研修会

11月8日、本市への民泊受入家庭を増やしていくことを目的に、県観光アドバイザー藤澤安良氏を講師に招いた研修会を開催しました。

研修会では、なぜ民泊が求められているのか、民泊の目的は何か、民泊を通じて、人として大切なことを作り上げていくことができる。お互いが刺激を受けることで向上することができる」と説明していました。

実際受け入れる時は、決してやり過ぎない、手を出し過ぎない、孫や子ども年代に当たる学生を受け入れるため、楽しめることや好きな食べ物など構えないといけないと思いがちになるけど、それは逆に学生たちのためにならない。いくら研修で口がすっぱくなるくらい言っても、やってしまう家庭があるが、そうではないとも言われました。

また、農業体験の受入れでは、未体験だから自由にやらすのではなく、むしろ農業の大変さ(重労働)を教え伝えることが重要であるとの説明がありました。



【問い合わせ先】

四万十市体験型観光受入研究会  
(観光課) ☎(34)1783